

氏名	村田健児	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	運動器理学療法学、基礎理学療法学				
学位	博士(健康科学)				
学歴	2005年4月 - 2009年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 2012年4月 - 2014年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 リハビリテーション学専修修了 2015年4月 - 2018年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 博士後期課程修了				
経歴	2016年2月 - 2016年8月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 非常勤職員・非常勤講師 2016年9月 - 2017年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教(産休代替) 2018年4月 - 現在に至る 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 助教				
所属学会(役職)	日本理学療法学会、埼玉県理学療法学会(学術局編集部)、専門リハビリテーション研究会(編集委員)、肩関節学会、日本軟骨代謝学会、日本下肢救済学会・足病学会、日本徒手理学療法学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
(2) 論文					
1	Controlling abnormal joint movement inhibits response of osteophyte formation	共著	Cartilage. 2018 Oct;9(4):391-401. doi: 10.1177/1947603517700955.	Murata K, Kokubun T, Morishita Y, Onistuka K, Fujiwara T, Nakajima A, Fujino T, Shimizu D, Takayanagi K, Kanemura N	2018.11
2	Restoring knee joint kinematics after anterior cruciate ligament injury might inhibit synovial membrane inflammation	共著	Sports Science for Health: in press	Murata K, Kokubun T., Takayanagi K., Kanamura N.	2018.9
3	Effects of Controlling Abnormal Joint Movement on Expression of MMP13 and TIMP-1 in Osteoarthritis	共著	Cartilage: in press	Onitsuka K., Murata K., Kokubun T., Fujiwara S., Nakajima A., Morishita Y., Kanamura N.	2018.12
(3) 学会発表					
1	Integrin and Fibronectin guide bridging movement of remnants during anterior cruciate ligament spontaneous healing in rat model	共著	12th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM 2018), Paris, France.	Takanori Kokubun, H. Shono, Y. Morishita, N. Kanemura, K. Murata, T. Kano, K. Ozone, Y. Oka, H. Hayashi, K. Takayanagi	2018.6
2	Microscopic Observation of a Rat Spontaneous Anterior Cruciate Ligament Healing	共著	12th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM 2018), Paris, France.	Morishita Y., Kanemura N., Kokubun T., Murata K., Takayanagi K	2018.6
3	変形性膝関節症動物モデルにおける関節運動の正常化がBMP-2/Smad mRNA発現量に及ぼす影響	共著	第37回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 栃木	村田健児, 岡優一郎, 加納拓馬, 国分貴徳, 鬼塚勝哉, 森下佑里, 小曾根海知, 桑原希望, 西元淳司, 藤原秀平, 中島彩, 高柳清美, 金村尚彦	2018.9

4	損傷部位の違いは前十字靭帯の自己治癒能に影響を及ぼすか	共著	第37回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 栃木	加納琢磨, 国分貴徳, 村田健児, 岡優一郎, 小曾根海知, 森下佑里, 西元淳司, 桑原希望, 高柳清美, 金村尚彦	2018.9
5	Enthesis構造は機械的ストレスの増加によって変化する	共著	第37回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 栃木	小曾根海知, 国分貴徳, 林弘之, 村田健児, 加納拓馬, 岡優一郎, 金村尚彦	2018.9
6	異常関節運動の制動は変性軟骨に対して保護作用を持つのか	共著	第37回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 栃木	岡優一郎, 国分貴徳, 村田健児, 加納拓馬, 小曾根海知, 西元敦司, 宇都弥紀, 峯岸雄基, 金村尚彦	2018.9
7	トイレ動作においてひとの動きを検出するアルゴリズムの提案および最適パラメータの検討と当該提案手法が転倒転落検知の精度に及ぼす影響	共著	第7回日本支援工学理学療法学会学術大会. 大阪	木戸聡史, 宮坂智哉, 村田健児, 高橋ひとみ, 櫻井秋平, 濱口豊大, 星文彦, 久保田章仁, 田中敏明	2018.9
8	骨粗鬆症と転倒の予防教室への参加年数が骨密度と体力に及ぼす影響	共著	第20回日本骨粗鬆症学会. 長崎	藤縄理, 菊本 東陽, 須永康代, 村田健児, 善生 まり子, 内山真理, 萱場 一則, 廣瀬 圭子, 荒木 智子, 遠藤 直人	2018.10
9	大腿四頭筋筋力低下は変形性膝関節症の発症に影響を及ぼさない～ラットモデルを用いた検証～	共著	第6回日本運動器理学療法学会学術大会. 福岡	藤原秀平, 村田健児, 国分貴徳, 金村尚彦	2019.1
10	自己治癒前十字靭帯の力学的特性に対して治癒期間が与える影響	共著	第27回埼玉県理学療法学会. 埼玉	加納拓馬, 国分貴徳, 村田健児, 岡優一郎, 小曾根海知, 根本由季菜, 荒川航平, 森下佑里, 西元淳司, 桑原希望, 高柳清美, 金村尚彦	2019.1
11	異常関節運動制動後の運動療法は軟骨の変性を抑制する	共著	第27回埼玉県理学療法学会. 埼玉	岡優一郎, 国分貴徳, 村田健児, 加納拓馬, 小曾根海知, 荒川航平, 西元淳司, 桑原希望, 金村尚彦	2019.1
12	末梢神経軸索断裂モデルマウスに対する運動介入は脱神経筋萎縮を抑制させ、筋肥大を促進させる	共著	第27回埼玉県理学療法学会. 埼玉	西元淳司, 峯岸雄基, 桑原希望, 宇都弥紀, 村田健児, 国分貴徳, 武本秀徳, 今北英高, 金村尚彦	2019.1
13	The effect of different injured sites on spontaneous healing ability in complete rupture ACL.	共著	Orthopaedic Research Society (ORS) 2019 Annual Meeting, Austin, U	Takuma Kano, Takanori Kokubun, Kenji Murata, Yuichiro Oka, Kaichi Ozone, Naohiko Kanemura	2019.2
(4) その他					
1					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	文部科学省 科学研究費補助金(若手B)	関節不安定性に着目した軟骨変性メカノバイオロジーの解明(代表)		H29-H31	
2	埼玉県産学連携研究開発プロジェクト補助金(ロボット分野)	プライバシーを保ちながら転倒転落等を感じ・通報するシステムの開発(分担)		H30	
3	平成29年度埼玉県立大学奨励研究費	膝関節半月板の機能低下がヒアルロン酸関連因子に及ぼす影響(代表)		H30	

3. 教育業績			
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	発達障害理学療法学	2018.4～2018.7	脳性麻痺についての講義
2	身体構造運動学	2018.10～2019.2	上肢・脊椎に関する講義
3	生体力学応用分析学	2018.10～2019.2	組織・生化学実験研究についての講義
(2) 演習			
1	理学療法特別演習	2018.10～2019.2	4年生に対し、国家試験に関わる領域の解説
2	理学療法セミナー(OSCE I, II)	2018.4～2018.7	3,4年生に対し、科目担当者として試験監督とフィードバックを担当
(3) 実習			
1	運動学実習	2018.4～2018.7	2年生に対し、運動学についての実習
2	機能診断学実習	2018.10～2019.2	2年生に対し、整形外科疾患の基本的な評価において使用するテスト方法について実習
3	臨床教育実習 I, II, III, IV	2018.10～2019.3	2,3,4年制の実習における施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当
4	IPW実習	2018.1	4年生に対し、4日間の実習を通して、多職種連携について実践・指導
(4) 論文指導			
(5) その他			
1	1年次生副担任	2018.4～2019.3	学生の指導、面談等を実施
2	春日部市立看護専門学校(非常勤講師)	2018.4～2019.3	人体の構造と機能に関する講義と試験
3	国立リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科(非常勤講師)	2019.1～2019.3	運動学(肩・肘)に関する講義と試験
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ 開催年月
1	第26回埼玉県理学療法学会	埼玉県理学療法士会	自主企画シンポジウム: 症例報告・論文の書き方(運動器) 2019.1
	医療法人社団 山手クリニック 院内講習会	山手クリニック	肩関節疾患の理学療法等 2018.4～2019.3
2	草加整形外科内科 院内講習会	草加整形外科内科	肩関節疾患の理学療法等 2018.4～2019.3
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
	公益社団法人 埼玉県理学療法士協会	学術編集委員	2018.4～2019.3
	専門リハビリテーション研究会	編集委員	2018.4～2019.3
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
5. 学内運営(委員会委員)			
1	情報図書委員会 委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
8. 特記事項			